

こちら海老川町進路指導部

『こち海老』

2023年7月27日

第3号

発行

青森県立田名部高等学校
進路指導部

1学期を終えて・・・

気づけば7月もあとわずか。1学期は終わってしまいました。1学期はどのようなものだったでしょうか。あっという間に過ぎ去ってしまった…と感じる人も少なくないでしょう。ここで、自分自身の取組について振り返ってみましょう。年度初めに、決意新たに設定した目標に向かって順調に取り組んでいますか？それとも、「時間がないから…」「忙しいから…」「疲れているから…」などなど、自分に言い訳をしながら後回しにし、ズルズルと夏休みに突入してしまっていないでしょうか？いずれにせよ、振り返ってみると何かしら課題は見つかるかと思います。テストや模試の点数だけを見て一喜一憂せず、自分に足りないことは何か、何をしなければいけないのか、いつ・どのようにやるのかを今一度洗い直し、有意義な夏期講習、2学期を送れるようにしましょう！

オープンキャンパスに参加しよう！

今年度はほとんどの学校が対面式のオープンキャンパスを予定しています。学校案内やホームページだけでは得ることができない情報を実際に自分の目で見て、肌で感じるすることができます。

また、オープンキャンパスに参加することで、自分の目標を具体的にイメージすることができ、大きなモチベーションに繋がります。ぜひ多くの学校に足を運んでみましょう。第一志望の学校はもちろん、幅広く様々な学校を見て比較をすることで新たな発見もできますよ！

参加プログラムの事前申し込みが必要な学校や、先着順で締め切っている学校もあるのであらかじめ各学校のホームページを確認しておきましょう。右に挙げた学校は一部なので、気になる大学や専門学校などは各自チェックしてみてください。また、オープンキャンパスに参加する際は「大学等見学・説明会参加届」、終了後は「大学等説明会報告書」を忘れずに担任の先生に提出しましょう。

8月開催の北海道・東北地区 OC 日程

8月5日(土)	室蘭工業大学／山形大学(工)
8月6日(日)	公立はこだて未来大学
8月5日(土), 6日(日)	公立千歳科学技術大学
8月6日(日), 7日(月)	北海道大学
8月8日(火)	弘前大学／岩手大学 宮城教育大学
8月9日(水)	青森県立保健大学
8月10日(木)	小樽商科大学
8月11日(金)	名寄市立大学

The プロフェッショナルで職業を知る！

田名部高校が独自で行っている進路講演会『The プロフェッショナル』には参加したことがありますか？『The プロフェッショナル』では様々な職業の“プロ”に来てもらい、講演会を行っています。第1回では、松本大学人間健康学部健康栄養学科から講師を招き、栄養士の仕事や栄養学を学ぶことについてお話していただきました。第2回では、自衛隊の方々を招き、自衛隊の幅広い仕事についてお話していただく予定です。自衛隊志望でなくても女性としてのキャリアアップについてなど、世の中の様々な職業について知り考えるきっかけになると思います。



2学期以降もいろいろな職業の講演会を計画中です。過去には、警察官、獣医師、税務署、観光業などの講演会を行ってきました。貴重な体験ができると思うので、ぜひ積極的に参加してみてください♪

また、参加した際はレポートを書くので、社会教育センターが主催している「スキルアッププログラム」の単位対象となります。参加した生徒は忘れずにレポートを書いておきましょう。



昨年度の The プロフェッショナルの様子。
警察の方による講演会は例年 大人気です☆

3年次は進路実現に向けた指導が本格化！

部活動を引退し、いよいよ勉強一本に集中する夏がやってきました。3年次は6月6日(火)放課後講習開講式からスタート！教頭先生や進路指導部主任、年次団の先生から受験に向かうための心構えをお話していただきました。放課後講習で学力向上を目指すだけでなく、進路講演会や二者面談など自分の進路としっかり向き合う機会が増えてきました。総合型選抜・学校推薦型選抜の受験を考えている生徒は、これから徐々に試験対策指導が始まります。田名部高校では生徒ひとりひとりに担当教員が割り当てられ、多種多様な試験に対応できる力をつけられるよう教員も全力でサポートします。合格を勝ち取れるように一緒に頑張りましょう！



7月1日(土)・2日(日)、2・3年次の公務員希望者を対象に、上野法律ビジネス専門学校の阿部宗人氏を講師にお呼びして公務員セミナーを実施しました。休日を丸2日間利用してのセミナーでしたが、生徒のみなさんは最後まで集中して真剣に取り組んでいました。7月に入り、公務員を始め様々な試験の出願が開始されました。試験日程や内容は、自治体によって異なります。それぞれの募集要項をしっかりと読み込みましょう。そしてこの夏休みを最大限に利用して、試験対策を行っていきましょう！

2025 入試の変更点

2025年度入試から新しい教育課程による入試が始まります。対象となるのは現在高1・2年次の生徒のみなさんとなりますが、今回は2025大学入学共通テストの大きな変更点をまとめてみたので、ぜひ確認してみてください。

①新教科「情報」の追加！

文理問わず受験教科が増加となり、ますます受験対策に苦戦しそうな「情報」の追加。一般選抜でどのように入試配点に組み込まれていくのか、今後の動きに注目が必要です。

②「国語」は試験時間が80分→90分へ。1題追加により大問は全部で5題に！

「近代以降の文章」に新たな問題が追加され、複数の資料を読み取る力が求められます。全体の配点等も変更され、1題追加による受験生の負担が増えるのは間違いありません…。

③「数学②」の内容に数学Cが追加！試験時間も60分→70分へ。

数学Ⅱ・Bで構成されていた数学②ですが、内容再編に伴い数学Ⅱ・B・Cで構成されることに。出題内容では、「統計的な推測」や「平面上の曲線と複素数平面」などが追加される形となりました。

④地歴公民の科目区分変更、選択方法が複雑に。

選択パターンが増えたことにより、勉強量は増加。社会の完成は高3の秋以降となることから、夏までに国数英の完成度をいかに高められるかが影響してきそうです。

「自分の頭で考えない」のは
寝ているのと同じ

近ごろの入試問題は「知識量」に加えて「考える力」が必要とされています。

では、どうしたら「考える力」を身につけられるのか——結論は「考える」ことです。考える力は考えることでしか身につけられません。勉強している間、ずっと考え続けること。教科書や参考書に書いてあることを鵜呑みにしてばかりいませんか。

たとえば「十二世紀ルネサンス」という言葉が出てきたら、「そうか、十二世紀にもルネサンスのような文化の発展があったんだな」と、そのまま覚えようとするだけになっていませんか。これでは「考えている」ことにはなりません。「なぜ十四世紀に始まったのが『ルネサンス』で、十二世紀が『十二世紀ルネサンス』なんだ？ 普通、逆じゃないのか？」「なぜ十一世紀でも十三世紀でもなく、十二世紀に始まったんだ？」と考える。小論文や面接の練習でも同じで、問いに対して「○だ」と思ったら、「それはなぜなのか」と考えるのです。

こういった疑問は、答えにたどり着けることもあれば、どこにも答えが書いてないこともあります。でも、たとえ答えが見つからなくても、「自分なりの仮説」を立てて、考えることが大事です。